

基本戦略	個別戦略	具体的取組		担当T	実施スケジュール					
					短期		中期			
		名称	概要		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
1 安全・安心な運行サービスの提供	①安全対策の強化	(1) 安全運転研修の実施	安全に関するスローガンである「輸送の安全確保が最大の使命」を実践するため、従来の運転士の安全運転研修を継続するだけでなく、課題が共通するバス事業者との合同研修の企画等によって、運転技術の向上に努めます。	運行管理T	共同研修等の実施検討・調整	実施				
		【取組結果】	【取組結果】	【取組結果】	【取組結果】	【取組結果】				
		他の事業者の安全研修のデータなど閲覧、人員不足のため、他の事業者との合同研修は困難な状況である。	既存の安全運転研修については引き続き行った。合同研修に向けて阪急バスに打診した。	阪急バス本社に伺い、意見交換を行うとともに、組織体制や先進的な研修について説明を受けた。また、指導運転士研修に市営バスの教習担当者が参加し、座学や実車による教習を見学させていただいた。	阪急バスで行っている車内事故防止等の研修や2段階バックに関する研修参加に向けて調整を行うほか、定期的に意見交換や交流などを行い、双方にとって有益となるような教習制度の構築を検討した。	高槻市営バス人材育成基本方針に沿った乗務員教育の拡充を目的として、阪急バスへの教習参加や意見交換の知見を活かし、交通部に取り入れる研修内容について検討を行った。				
(2) 事業継続計画の整備	現行の事業継続計画(平成28(2016)年度策定)について、新型コロナウイルス等の感染症対策や災害時における車両避難計画、想定を超える風水害に対応する計画運休等、多様化するリスクを踏まえた見直しを進めます。	運行管理T 企画T	新たなリスクやシステム関係の不具合発生に対するBCP策定	実施						
【取組結果】	【取組結果】	【取組結果】	【取組結果】	【取組結果】						
車両避難計画については検討中。車両の消毒をこまめに行い、運転席防護シートの点検及び取り換え等を行った。	新型コロナウイルス等の感染症対策については前年度同様に取り組む。車両避難計画については、具体的な経路・場所・手順について検討を行った。	【運行管理T】 危機対策についてはマニュアルの体系化を図った。また、淀川決壊を想定したバス車両の退避等については、引き続き、市の危機管理対応部署と連携し検討を行った。 【企画T】 策定済みの「災害時における対応マニュアル」の一部として、災害発生時における利用者への周知に係る項目を追加した。	【運行管理T】 運行における危機対策マニュアルと、主にシステムダウンを想定した危機対策マニュアルとの更なる体系化を検討し、市営バスとして統一化された事業継続計画(BCP)の策定を検討した。また、南海トラフ地震を想定したBCPを新たに策定した。淀川決壊を想定したバス避難等については、引き続き、市の危機管理対応部署と連携し検討を行った。 【企画T】 特になし	【運行管理T】 前年度に検討した交通部全体の危機対策マニュアル(運行+システム)を策定した。 【企画T】 特になし						
(3) 安全な運行の確保	安全で安心なバス運行を提供するため、運転士に対する睡眠時無呼吸症候群(SAS)チェック等の健康管理や、乗車前のアルコールチェック等に加え、新型コロナウイルスによる感染症等の多様化するリスクへの対策を確実に実施し、安全管理を徹底します。	運行管理T	実施	実施						
【取組結果】	【取組結果】	【取組結果】	【取組結果】	【取組結果】						
全乗務員に対して、睡眠時無呼吸症候群(SAS)の検査の実施。点呼時にアルコール検知器によるチェック・検温・体調確認を行った。	点呼時のアルコール検知器によるチェックや検温、体調確認については引き続き、行った。睡眠時無呼吸症候群の検査は令和6年度に行った。	点呼時のアルコール検知器によるチェックや検温、体調確認を実施した。睡眠時無呼吸症候群の検査は令和6年度に行うこととした。バス非常扉の開閉について、実際の車両を使用した研修を行った。	点呼時のアルコール検知器によるチェックや検温、体調確認については引き続き実施した。睡眠時無呼吸症候群の検査を令和6年度中に実施した。また、バス非常扉の開閉について、実車を用いて研修を行った。	点呼時のアルコール検知器によるチェックや検温、体調確認については引き続き実施した。また、バス非常扉の開閉について、実車を用いて研修を行った。						

■高槻市営バス経営戦略(現行版) 進捗管理表

基本戦略	個別戦略	具体的取組		担当T	実施スケジュール				
		名称	概要		短期		中期		
					令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
2 快適で質の高いサービスの提供	② 利便性の向上	(1) バス停留所の利便性・快適性の向上	お客様が、より快適にバスを待てるよう、ベンチ・照明設備・バス停留所上屋等の整備を図るとともに、コンビニエンスストア等近隣事業所との共同によるバス待合施設の設置を検討します。また、バス停留所名称の見直しや案内表示の整備に継続して取り組むとともに、バス停台帳のデータベース化を検討します。	ダイヤ・施設T	バス停留所台帳のデータベース化				
					新たなバス停留所のあり方を検討 情報収集・協議・調整		実施		
					【取組結果】 過去の台風で被害があったバス停留所の上屋を再設置した。また、公営交通事業協会からの寄贈上屋についても設置した。 JR高槻駅北のりば場所の変更により乗車数が多いのりばにベンチを追加設置した。 また、駅ターミナルのりばの上屋清掃について、実施した。 バス停留所待合施設については、停留所付近にて新たなコンビニエンスストアの建設が予定されておりバス待合施設として活用いただくよう設計事務所からオーナー様へ打診した。 バス停留所名称変更については、経費が高むことから経営状況の回復を待ち検討していく。 バス停台帳のデータベースについては、項目内容のフォーマットを検討した。	【取組結果】 劣化していたJR高槻駅北駅前バスターミナル案内板の照明器具をLED照明へ切り替え、設置が完了した。また、駅ターミナルのりばの上屋清掃を実施する予定である。バス停留所待合施設については、停留所付近にて建設が予定されているコンビニエンスストアにバス待合施設として活用いただくよう引き続き打診した。 バス停留所名称変更については、経費が高むことから引き続き経営状況の回復を待ち検討する。 バス停台帳のデータベースについては、停留所ごとの画像等のデータ収集に努めた。	【取組結果】 ・JR摂津富田の駅舎から比較的遠い「JR富田駅1番・2番のりば」を駅前ロータリーや駅舎沿いに移設した。 ・劣化や破損したベンチの交換を実施した。 ・駅ターミナルのりばの上屋清掃を道路課と協議して業務依頼を行った。 ・バス停留所待合施設について、停留所付近にて建設が予定されているコンビニエンスストアにバス待合施設として活用いただくよう引き続き打診した。 ・バス停留所名称変更については、経費が高むことから、保留とした。 ・バス停台帳のデータベース化について、停留所ごとの画像等のデータ収集が完了した。	【取組結果】 ・関西将棋会館完成後の「JR高槻駅西バス停」を令和7年4月1日から「将棋会館前」に変更する。 ・令和5年度に実施した「JR富田駅1番・2番のりば」の移設後の原状回復を行った。 ・バス停台帳のデータベース化について、ほぼ完成した。	【取組結果】 ・(復路)芝生東口バス停におけるバス待ち環境の改善に引き続き、取り組んだ。 ・バス停照明器具のLED化を順次、行った。
		(2) キャッシュレス決済の導入	お客様の利便性を向上するため、定期券販売等におけるキャッシュレス決済の導入を検討します。	財務T	情報収集・課題整理 カード媒体の選定		既存システムのリプレイスと合わせて導入時期を検討		
					【取組結果】 導入にあたっての課題やメリット・デメリットを明確化するため公営企業の他社局に照会を実施した。	【取組結果】 他社局から抽出した課題やメリット・デメリットを踏まえ、導入の可否や、導入の時期等について検討を行った。	【取組結果】 キャッシュレス化導入に向けた検討会を開催し、令和6年度での定期券販売窓口におけるキャッシュレス決済導入に向けた方針を決定し、予算化を図った。	【取組結果】 定期券販売窓口におけるキャッシュレス決済を導入した。	【取組結果】 運賃箱におけるクレジット決済等の導入に向けた検討を行った。

■高槻市営バス経営戦略(現行版) 進捗管理表

基本戦略	個別戦略	具体的取組		担当T	実施スケジュール						
		名称	概要		短期			中期			
					令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
2	快適で質の高いサービスの提供	② 利便性の向上	(3) 各種ICカードの統合	お客様の利便性を向上するため、市営バス定期券、市営バス専用ICカード、全国共通交通系ICカード等の統合を関係各所と調整及び検討し、利用者の利便性向上を図ります。	企画T 財務T	情報収集、課題整理、導入可否の検討					
			(4) 新たな企画券及び年間定期券の導入検討	お客様の増加に向けて、既存の企画券(一日乗車券等)の積極的な案内・販売や、年間定期券等新たな企画券の導入について検討を進めます。	企画T 財務T	バスぐら制度変更実施	新たな企画券及び年間定期券の導入検討				
			(5) 先進的車両の導入検討(自動運転技術等)	自動ブレーキや対人、対物センサー等を搭載した先進的車両の導入を検討します。また、運転士不足や新技術の進展、法改正等を踏まえ、自動運転技術の導入可能性について研究を進めます。	企画T 運行管理T	情報収集 共同研究	路線再編と併せて検討				
					【取組結果】 【企画T】 経営改善の観点から、現在実施している各種割引サービスの再編を検討した。 【財務T】 各ICカードの利用者数の割合や利用数の推移などの情報を収集した。	【取組結果】 【企画T】 スルッとKANSAI協会における次世代型乗車券(QRコード)の開発状況を踏まえ、情報収集を行った。 【財務T】 課題の整理やICカード統合による効果について研究を行った。	【取組結果】 【企画T】 ODデータの取得、不正防止等の観点で、紙券で運用している乗車券類(かかもバス、おでかけバス等)について、スルッとKANSAI協会における次世代型乗車券(QRコード)の開発状況を踏まえ、情報収集及び事例調査を行った。 【財務T】 各ICカードの利用者数の割合や利用数の推移などの情報を収集した。	【取組結果】 【企画T】 スルッとKANSAI協会で開催中の「スルッとQRtto(QR乗車券サービス)」について、同システムの検討会議に参画し、情報収集に努めた。 【財務T】 各ICカードの利用者数の割合や利用数の推移などの情報を収集した。	【取組結果】 【企画T】 「スルッとQRtto(QR乗車券サービス)」の将来的な導入を見据え、同システムの検討会議に参画し、情報収集に努めた。 【財務T】 各ICカードの利用者数の割合や利用数の推移などの情報を収集した。		
					【取組結果】 【企画T】 小・中学生を対象として夏・冬・春の長期休暇期間に全線利用可能な「おでかけバス」を新発売した。市観光協会では「たかつき観光アプリ」内で『高槻市営バス1dayスマート乗車券』を発売し、販売時間の拡大とキャッシュレス決済に対応した。 【財務T】 コロナ拡大期に定期券の払い戻しが大量に発生したことなどから年間定期券等、長期間の定期券導入については慎重に検討する。	【取組結果】 【企画T】 安満遺跡公園新路線の開設(令和5年4月1日運行開始予定)を踏まえた記念乗車券を販売した(令和5年3月25日)。 【財務T】 長期間の定期券導入については高額となるため、キャッシュレス決済と合わせて検討する。	【取組結果】 【企画T】 令和6年2月に市営バス開業70周年を迎えることを踏まえ、下記の取組を実施した。 ①記念トミカ製作 ②記念ラッピングバス制作 ③記念フロントマスク及びステッカー製作 ④記念切手作製 ⑤記念誌制作 ⑥記念イベント(令和5年11月11日:安満遺跡公園) ⑦写真・絵画公募 【財務T】 6箇月定期券の導入可否を検討した。	【取組結果】 【企画T】 市営バス開業70周年記念事業の一環として、「新関西将棋会館オープン」とコラボした記念乗車券を製作、販売した。 【財務T】 6箇月定期券の導入について、今後の収支状況を鑑みながら検討を行った。	【取組結果】 【企画T】 特になし 【財務T】 6箇月定期券の導入について、今後の収支状況を鑑みながら引き続き検討を行った。		
					【取組結果】 【企画T】 令和2年度から実施している建設コンサルタント事業者との自動運転技術に係る共同研究を踏まえ、先進技術の情報収集、本市の交通まちづくりを踏まえた自動運転技術の導入可能性検討及びロードマップの作成等に取り組んだ。 【運行管理T】 研究中。	【取組結果】 【企画T】 システムの開発レベルや関連する法整備など、自動運転技術を取り巻く社会情勢を踏まえ、市営バス山間3路線の再編と連携しながら、本市への自動運転技術の導入可能性について研究を行った。 【運行管理T】 研究中。	【取組結果】 【企画T】 システムの開発レベルや関連する法整備など、自動運転技術を取り巻く社会情勢を踏まえ、市営バス山間3路線の再編と連携しながら、本市への自動運転技術の導入可能性について、引き続き、情報収集等を行った。 【運行管理T】 安全に係る先進的技術として、従前のドライバー異常時対応システム(EDSS)に加え、新たにドライバーステータスマニター(DSM)を搭載した車両について、車両更新のタイミングで導入を促進した。	【取組結果】 【企画T】 レベル4自動運転の社会実装を見据え、市の交通政策担当部署と連携し、情報収集に努めるとともに、山間路線におけるオンデマンド交通導入と合わせた実証実験の実施に向けた検討を行った。 【運行管理T】 安全に係る先進的技術について、ドライバーステータスマニター(DSM)を搭載した車両について、車両更新のタイミングで導入を促進した。	【取組結果】 【企画T】 レベル4自動運転の社会実装を見据え、市の交通政策担当部署と連携し、情報収集に努めるとともに、山間路線におけるオンデマンド交通導入(萩谷地域等)と合わせた実証実験の実施に向けた検討を行った。 【運行管理T】 安全に係る先進的技術について、ドライバーステータスマニター(DSM)を搭載した車両について、車両更新のタイミングで導入を促進した。		

■高槻市営バス経営戦略(現行版) 進捗管理表

基本戦略	個別戦略	具体的取組		担当T	実施スケジュール						
					短期			中期			
		名称	概要		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
2 快適で質の高いサービスの提供	② 利便性の向上	(6) 交通需要や市民生活に即した路線再編及びダイヤ適正化	ODデータに基づく利用実態の分析結果を踏まえ、より利便性が高く効率的な運行経路の検討や運行ダイヤの適正化に取り組みます。	企画T ダイヤ・施設T	(第1段階) 路線再編, ダイヤ適正化, 代替交通手段等の検討・協議・調整・意見聴取			実施			
										(第2段階) 路線再編, ダイヤ適正化, 代替交通手段等の検討・協議・調整・意見聴取	
					【取組結果】 【企画T】 山間3路線(田能・萩谷・川久保)のうち、ODデータの分析から需要が極端に少ない区間について、市の交通政策担当部局と連携して沿線住民へのアンケート調査を行うとともに、路線バスに代わる新たな交通手段の導入について検討を行った。 【ダイヤ・施設T】 同区域を重複して運行している一部の路線・系統について、ODデータの分析結果を基に利便性の向上と効率的な運行の検討を行った。	【取組結果】 【企画T】 山間3路線(田能・萩谷・川久保)における路線バスに代わる新たな交通手段の導入について、市の交通政策担当部局と連携し、運行形態、運行経路、サービスレベル、運行計画、運賃体系などについて、導入に向けた検討を行った。 【ダイヤ・施設T】 令和4年12月改正において、ODデータの数値を基にダイヤの増減を実施した。	【取組結果】 【企画T】 山間3路線(田能・萩谷・川久保)における路線バスに代わる新たな交通手段の導入について、市の交通政策担当部局と連携し、運行形態、運行経路、サービスレベル、運行計画、運賃体系などについて検討を行った。 また、オンデマンド交通の導入可否及び実証運行の開始等に向けた地元協議を行った(3地域)。 【ダイヤ・施設T】 ODデータを分析し、大型車から中型車に移行可能な便について検討を行い、効率的かつ利便性の向上を図った。	【取組結果】 【企画T】 市営バスの山間3路線(田能・萩谷・川久保)について、市の交通政策と連携し、路線バスに代わる新たな交通手段の導入について、実証実験開始に向けた地元協議及び各種の協議調整を行った。 その他市営バス路線全般の最適化について、課題抽出及び改善策の検討を行った。 【ダイヤ・施設T】 ・2024年問題への対応として実施したダイヤ改正について、ODデータ等に基づく検証を行った。	【取組結果】 【企画T】 山間3路線のうち、樫田地区において、デマンドバスの運行準備、原大橋バス停の待合所整備、オンデマンド予約及び配車システムの導入等に取り組み、令和7年11月1日から実証運行を開始した。 【ダイヤ・施設T】 ODデータ等に基づく検証を行い、令和8年4月のダイヤ改正に反映させた。		
③ 接遇サービスの向上	(1) 優良運転士の育成	お客様から高い評価を受けた運転士の表彰や市営バスに関するサービス知識検定を行う等の方法によって、目に見える評価を行うことで、運転士の意識向上やサービスの改善につなげていきます。	運行管理T	制度検討	実施						
				【取組結果】 研修などで、評価をいただいた乗務員を紹介し他の乗務員の意識の向上を図った。	【取組結果】 高槻市営バス人材育成基本方針の策定に係り、研修制度の項目を設けて、優良運転士の育成方針の検討を行った。	【取組結果】 高槻市営バス人材育成基本方針に基づいた研修の拡充について、ロールプレイング形式のグループ研修を実施した。また、営業所管理職に対して、運転手との円滑なコミュニケーションの醸成に向けたハラスメント研修を行った。	【取組結果】 阪急バスへの教習参加の知見を活かし、「高槻市営バス人材育成基本方針」に基づく新たな研修企画や既存研修の体系化を検討した。	【取組結果】 阪急バスへの教習参加の知見を活かし、「高槻市営バス人材育成基本方針」に基づく新たな研修企画や、既存研修の体系化を検討した。また、接遇を向上させるため、ロールプレイング形式の班研修を行った。			
④ 顧客ニーズの的確な把握	(1) アンケート調査等の実施	お客様のニーズを把握し、利用促進やサービスの充実につなげるために、適切な時期にアンケート調査等を実施します。	企画T	実施							
				【取組結果】 妊婦特別運賃制度(このとりパス)の交付に合わせて、事前及び事後アンケート調査を行い、利用者ニーズ等を分析した。	【取組結果】 妊婦特別運賃制度「このとりパス」に加え、乳児保護者等特別運賃制度「かるがもバス」に係るアンケート調査の実施を検討した。小・中学生向け企画乗車券「おでかけパス」の利用者アンケートを市の簡易電子申込システムを活用して実施した。	【取組結果】 妊婦特別運賃制度「このとりパス」に係るアンケート調査を行うとともに、乳児保護者等特別運賃制度「かるがもバス」の運用開始を踏まえ、アンケート調査を統合した。	【取組結果】 令和6年度から7年度に掛けて検討する「市営バス経営戦略の改定」を踏まえ、利用者アンケート調査を実施した。	【取組結果】 主に、子育て世代を対象とする利用者アンケート調査を実施した(令和7年10月1日~11月30日)。			

■高槻市営バス経営戦略(現行版) 進捗管理表

基本戦略	個別戦略	具体的取組		担当T	実施スケジュール				
					短期			中期	
		名称	概要		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
2 快適で質の高いサービスの提供	④顧客ニーズの確かな把握	(2) ODデータの活用検討	ODデータの利活用について、データの可視化、運行ダイヤの効率化、人口、気象等データとの複合的な分析などにより、総合的にお客様サービスの向上を目指す。	企画T ダイヤ・施設T 財務T	ステップ1	ステップ2		ステップ3	
					<p>【取組結果】</p> <p>【企画T】 データの可視化や人口・気象データ等との複合的な分析並びに集計・演算時間の効率化を図るため、新たなODデータ分析システムの導入を検討した。</p> <p>【ダイヤ・施設T】 ODデータ分析システムについて、ダイヤ改正時に必要な新旧の具体的な改正内容についての説明資料の基となる新たな帳票フォーマットの検討を行った。</p> <p>【財務T】 各ICカードの定型的な分析について、部内で共有できる体制を整えた。</p>	<p>【取組結果】</p> <p>【企画T】 新たなODデータ分析システムの導入について、大阪スマートシティパートナーズフォーラムの補助金を活用し、「SWAT Mobility Japan社」との共同研究に着手し、高槻市交通部版のODデータ集計システム(試行版)を構築した。</p> <p>【ダイヤ・施設T】 引き続き、ダイヤの効率化に必要なデータの検討に取り組んだ。</p> <p>【財務T】 人口推計や気象情報等を絡めた複合的な分析について研究を行った。</p>	<p>【取組結果】</p> <p>【企画T】 令和4年度に民間企業との共同研究で構築したODデータ集計システム(試行版)について、更なる改善を検討した。</p> <p>【ダイヤ・施設T】 ODデータを基に、更なる運行効率化を検討した。</p> <p>【財務T】 各ICカードの乗降人数について、気象条件や暦等の複合条件も加味した定量的な分析を行った。</p>	<p>【取組結果】</p> <p>【企画T】 市営バス事業におけるDX推進を踏まえ、既存システムの概要(カルテ)等を含む「市営バスDX推進基本方針」を策定した。</p> <p>【ダイヤ・施設T】 令和6年度中に更新予定の「ダイヤ・営業所システム」とODデータとの連携を検討した。</p> <p>【財務T】 各ICカードの乗降人数について、気象条件や暦等の複合条件も加味した定量的な分析を行った。</p>	<p>【取組結果】</p> <p>【企画T】 令和6年度に策定した「市営バスDX推進基本方針」を踏まえ、DX推進ロードマップやDX人材育成方針等を含む「市営バスDX推進計画」の策定を検討した。</p> <p>【ダイヤ・施設T】 今年度導入された「ダイヤ・営業所システム」でのODデータの活用方法について検討を行った。</p> <p>【財務T】 各ICカードの乗降人数について、気象条件や暦等の複合条件も加味した定量的な分析を行った。</p>



■高槻市営バス経営戦略(現行版) 進捗管理表

基本戦略	個別戦略	具体的取組		担当T	実施スケジュール					
					短期		中期			
		名称	概要		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
3 まちづくりと連携したサービスの提供	⑥定住促進・子育て支援との連携	(1)	このとりパスの継続	子育て世代に対する移動支援として、妊娠中の方の運賃割引を行う妊婦特別運賃制度(このとりパス)を継続します。	企画T	実施				
						【取組結果】 子ども保健課の協力を得て今年度もこのとりパスの発行を継続した。また、事後アンケートで得られたお客様の声から、新たに新生児を対象とした「(仮称)かるがもパス」の発行による子育て支援の拡充を検討した(※「新たな企画券及び年間定期券の導入検討」の項参照)。	【取組結果】 妊婦特別運賃制度「このとりパス」に加え、令和4年11月1日から、乳児保護者等特別運賃制度「かるがもパス」の運用を開始した。	【取組結果】 妊婦特別運賃制度「このとりパス」及び、乳児保護者等特別運賃制度「かるがもパス」の交付及び運用を行った。	【取組結果】 妊婦特別運賃制度「このとりパス」及び、乳児保護者等特別運賃制度「かるがもパス」の適切な交付及び運用に努めた。	【取組結果】 妊婦特別運賃制度「このとりパス」及び、乳児保護者等特別運賃制度「かるがもパス」の適切な交付及び運用に努めた。
(2)	モビリティ・マネジメントの体系化	バス乗車体験による小・中学校、自治会、子育て世代等に対する交通環境学習等をはじめとするモビリティ・マネジメントの体系化を検討します。	運行管理T 企画T	MMの体系化検討・実施						
				【取組結果】 【運行管理T】市内小学校の児童による車庫見学や観光協会主催の一般向けの(オープンたかつき)車庫見学を実施。 【企画T】新型コロナウイルスに係る外出自粛要請等もあり、実体験によるモビリティ・マネジメントの機会創出は困難な状況にある。代替として映像コンテンツによるベビーカーご利用でのご乗車方法の作成など、おうちで疑似体験していただけるような手法の開発に取り組んだ。他部署との連携においては、管理課が制作した幼稚園・保育所の園児向け交通安全啓発絵本に「たかつきばすお」が出演し、市営バスとのコラボレーション企画を実施した。	【取組結果】 【運行管理T】前年度と同様に、地域の方々に身近に感じていただけるような取組みを検討する。 【企画T】各種イベントへのバス車両出展により、子どもや子育て世代が市営バスに触れ合う機会を創出した(市営バスのファンを増やすためのイベント企画や参画参照)。	【取組結果】 【運行管理T】市内小学校の児童や「オープンたかつき」における車庫見学や安全教室、市民を対象とする出前講座などを実施するとともに、地域の方々に身近に感じていただけるような取組を検討した。 【企画T】各種イベント等へのバス車両出展により、子どもや子育て世代が市営バスに触れ合う機会を創出した(市営バスのファンを増やすためのイベント企画や参画参照)。 市の子育て政策担当部署と連携し、「ベビーカーによる市営バス乗車体験教室」を再開した(令和5年11月20日:子ども未来館)。	【取組結果】 【運行管理T】市内小学校の児童や「オープンたかつき」における車庫見学や安全教室、市民を対象とする出前講座などを実施するとともに、地域の方々に身近に感じていただけるような取組を検討した。 【企画T】市の子育て施策担当部署と連携し、「ベビーカーによる市営バス乗車体験教室」を実施するとともに、動画等の活用による周知・啓発の拡充を検討した。	【取組結果】 【運行管理T】市内小学校の児童や「オープンたかつき」における車庫見学や安全教室、市民を対象とする出前講座などを実施するとともに、地域の方々に身近に感じていただけるような取組を検討した。 【企画T】市の子育て施策担当部署と連携し、「ベビーカーによる市営バス乗車体験教室」を実施するとともに、動画等の活用による周知・啓発の拡充を検討した。		

■高槻市営バス経営戦略(現行版) 進捗管理表

基本戦略	個別戦略	具体的取組		担当T	実施スケジュール				
					短期			中期	
		名称	概要		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
3 まちづくりと連携したサービスの提供	⑦拠点整備との連携	(1) 新たな道路整備に伴う交通需要への対応	新名神高速道路・高槻インターチェンジ開通や新規の道路整備に伴う交通需要の変化に応じた路線・ダイヤ等の見直し及び新たな路線設定について検討します。	ダイヤ・施設T 企画T	実施				
					<p>【取組結果】</p> <p>【ダイヤ・施設T】 府道十三高槻線や新名神高速道路に係る新設道路を見据えた路線・系統の統合の研究に取り組んだ。</p> <p>【企画T】 (府道)十三高槻線や(市道)南平台日吉台線等の整備並びに新名神高速道路高槻IC周辺(成合地区)におけるを土地区画整理事業等を踏まえ、既存路線の再編や新規路線開設の可能性を検討した。</p>	<p>【取組結果】</p> <p>【ダイヤ・施設T】 引き続き、府道十三高槻線や新名神高速道路に係る新設道路を見据えた路線・系統の統合やバス回転場等の具体的な研究に取り組んだ。</p> <p>【企画T】 市内の道路整備や大規模開発の状況を踏まえ、更なる路線の効率化について検討を行った。</p>	<p>【取組結果】</p> <p>【ダイヤ・施設T】 新名神高速道路高槻IC周辺(成合地区)におけるを土地区画整理事業等を踏まえ、利用実態に応じたダイヤ編成を検討した。</p> <p>【企画T】 新名神高速道路の建設に伴う西国街道の通行止めに係る地元自治会からの要望を踏まえ、市営バス梶原線の一部区間を西国街道から西京高槻バイパスを通るルートに変更した(令和5年12月1日)。 (府道)十三高槻線や淀川渡河橋等の道路整備の進捗を見据えながら、既存路線の再編や新規路線の開設を検討した。 市、大阪府、国交省、警察と連携し、道路渋滞による遅延が慢性化している府道大阪高槻線(大高線)の渋滞対策を検討した(市役所前交差点の信号現示見直しにより、大幅に渋滞が改善)。</p>	<p>【取組結果】</p> <p>【ダイヤ・施設T】 新名神高速道路建設に伴う西国街道通行止め解除後の路線・ダイヤ等の研究に取り組んだ。</p> <p>【企画T】 新名神高速道路「高槻～八幡間」の建設促進を踏まえ、梶原東バス停の再移設について、ネクスコ西日本と協議、調整を行った。 市、大阪府、国交省、警察と連携し、道路渋滞による遅延が慢性化している府道大阪高槻線(大高線)の渋滞対策について、沿線事業所の新規開設等を見据えながら、状況の注視に努めた。</p>	<p>【取組結果】</p> <p>【ダイヤ・施設T】 新名神高速道路建設に伴う西国街道通行止め解除後の路線・ダイヤ等の研究に取り組んだ。</p> <p>【企画T】 新名神高速道路「高槻～八幡間」の建設促進を踏まえ、梶原東バス停の再移設について、ネクスコ西日本と協議、調整を行った。 市、大阪府、国交省、警察と連携し、道路渋滞による遅延が慢性化している府道大阪高槻線(大高線)の渋滞対策について、沿線事業所の新規開設等を見据えながら、状況の注視に努めた。</p>

■高槻市営バス経営戦略(現行版) 進捗管理表

基本戦略	個別戦略	具体的取組		担当T	実施スケジュール				
		名称	概要		短期			中期	
					令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
3 まちづくりと連携したサービスの提供	⑧ 観光促進との連携	(1) 旅客案内の改善	観光客をはじめとする市外からのお客様に対し、観光施設沿線路線における沿線ガイドや旅客案内表示、印刷物の検討等、よりわかりやすい旅客案内の改善を検討します。	ダイヤ・施設T 企画T	実施				
					【取組結果】 【ダイヤ・施設T】 各ターミナル駅の旅客案内表示について、当部所管外を含む当該案内表示の確認巡視を実施。更新していない情報等について、修正対応を行った。また、当部所管外の当該案内表示については、所管する部署へ連携を図った。 【企画T】 観光シティセールス課が発行する「路線バスで巡る高槻観光ガイドマップ」の増刷・改訂において情報提供を行い、4月ダイヤ改正でのバス停名改称(大阪医科薬科大学(薬学部))への対応等を行った。	【取組結果】 【ダイヤ・施設T】 各ターミナル駅や各停留所において、現状の案内表記や内容等を精査し、より分かりやすい旅客案内の改善に向け検討を行った。 【企画T】 安満遺跡公園を経由する新路線の開設やJR高槻駅北ターミナルの改良等を踏まえ、分かりやすい旅客案内について検討を行った。	【取組結果】 【ダイヤ・施設T】 新たな路線開設を踏まえ、駅ターミナルや各停留所において、現状の案内表記や内容等を精査し、より分かりやすい旅客案内の改善を行った。 【企画T】 令和5年4月1日に開設した「前島・安満遺跡公園線」に係る広報・周知を行った(広報誌、バス車内ポスター掲示、駅前デッキ広告枠掲示)。駅ターミナル等における旅客案内の改善を検討するとともに、HPやSNS等の活用による旅客案内の改善について、検討を行った。	【取組結果】 【ダイヤ・施設T】 現状の案内表記や内容等を精査し、より分かりやすい旅客案内の改善の検討を行った。 【企画T】 新関西将棋会館の移転等、市の観光政策を踏まえた市営バス沿線情報の適切な周知に努めた。	【取組結果】 【ダイヤ・施設T】 令和6年11月の新関西将棋会館完成を踏まえ、JR高槻駅北デッキの案内表記について、関係各所と連携し調査研究を行った。 【企画T】 市の観光政策を踏まえた市営バス沿線情報の適切な周知に努めた。
		(2) 安満遺跡公園等へのバス路線(系統)の設定検討	令和3(2021)年度に全面開園を予定する安満遺跡公園へのアクセスを確保するために、新たな路線(系統)設定について検討します。併せて、市内の主要施設を循環する路線の必要性についても検討します。	ダイヤ・施設T 企画T	実施				
			【取組結果】 【ダイヤ・施設T】 高槻駅緑町線の全線供用後の交通量予測や交差点付近等の道路幅員、想定される停留所の設置検討。また、新設する運行経路・系統についても併せて検討した。 【企画T】 安満遺跡公園の全面開園並びにアクセス道路となる(市道)高槻駅緑町線の全線供用を踏まえ、同公園前を通る市営バス路線の開設について検討を行った。	【取組結果】 【ダイヤ・施設T】 地元地域との協議結果に基づいた路線・系統の設定、停留所施設関連やダイヤ作成について検討を行った。 【企画T】 お客様の利便性向上と市営バス事業の収支改善を踏まえ、既存の前島線の運行経路を一部変更し、安満遺跡公園を経由する新路線を開設(令和5年4月1日運行開始予定)。	【取組結果】 【ダイヤ・施設T】 市内の主要施設を循環する路線の必要性について研究を行った。 【企画T】 関西将棋会館や芸術文化劇場等の新たな観光資源の整備を踏まえ、市内循環線の開設について研究を行った。	【取組結果】 【ダイヤ・施設T】 曜日限定で運行している安満遺跡公園系統の必要性について、利用実態を踏まえながら改善を検討を行った。 【企画T】 新関西将棋会館や芸術文化劇場等の新たな観光資源の整備や利用促進を踏まえ、市内循環線の開設について研究を行った。	【取組結果】 【ダイヤ・施設T】 前島及び安満遺跡公園系統について、効率的な路線運行の研究を行った(循環系統等)。 【企画T】 新関西将棋会館や芸術文化劇場等の新たな観光資源の整備や利用状況を踏まえ、市内循環線の開設について研究を行った。		
(3) 貸切観光バス事業の拡大	大阪・関西万博の開催等を見据え、国内外の観光需要の取込みを図るため、貸切観光バス事業の拡大を検討します。	運行管理T	営業強化検討 実施						
			【取組結果】 検討した結果、人員不足や車両の不足により、拡大困難な状況である。	【取組結果】 拡大は困難であるが、状況を見ながら検討した。	【取組結果】 コロナ禍からの回復を注視するとともに、2024年問題の対応も踏まえて貸切観光バスのあり方を検討した。	【取組結果】 コロナ禍により落ち込んだ貸切利用者の回復を注視するとともに、2024年問題による影響も踏まえ、貸切観光バスのあり方を検討した。	【取組結果】 2024年問題の影響等による運転士不足の状況を踏まえ、貸切観光バス事業の拡大は困難な状況。		

■高槻市営バス経営戦略(現行版) 進捗管理表

基本戦略	個別戦略	具体的取組		担当T	実施スケジュール				
					短期			中期	
		名称	概要		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
3 まちづくりと連携したサービスの提供	⑧ 観光促進との連携	(4) 空港リムジンバス事業の参入検討	大阪・関西万博の開催等を見据え、国内外の観光需要の取込みを図るため、空港リムジンバス事業への参入を検討します。	企画T 運行管理T	需要予測 費用対効果等検討		実施の可否を検討		
					【取組結果】 【企画T】 空港リムジンバス事業においては、新型コロナウイルス対応による航空便の運休等により各バス事業者とも大きな打撃を受けている。非常事態下のため需要予測が難しく、具体的な検討は行わなかった。 【運行管理T】 車両の購入が必要となるため、困難な状況である。	【取組結果】 【企画T】 コロナ禍収束後の観光需要並びに、大阪万博の開催(2025年)等を踏まえ、空港リムジンバスの開設可能性について研究を行った。 【運行管理T】 引き続き検討を行った。	【取組結果】 【企画T】 【運行管理T】 コロナ禍収束後の観光需要並びに、大阪万博の開催(2025年)等を踏まえ、空港リムジンバスの開設可能性について研究を行った。	【取組結果】 【企画T】 【運行管理T】 アフターコロナ禍の観光需要並びに、大阪万博の開催(2025年)等を踏まえ、引き続き、空港リムジンバスの開設可能性について研究を行った。	【取組結果】 【企画T】 大阪・関西万博の開催等を踏まえ、空港リムジンバスの開設可能性について研究を行った。 【運行管理T】 2024年問題の影響等による運転士不足の状況を踏まえ、空港リムジンバス事業への参入は困難な状況。

■高槻市営バス経営戦略(現行版) 進捗管理表

基本戦略	個別戦略	具体的取組		担当T	実施スケジュール						
		名称	概要		短期			中期			
					令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
4 経営基盤の強化	⑨人材の確保・育成と組織力向上	(1) 運転士の確保	将来的な担い手の不足を想定し、若年層や女性運転士の確保や定年延長・再雇用制度の充実等によるシニア層の拡充等多様な人員の確保に努めます。	総務T 企画T	事例収集・課題整理 制度検討						
							実施				
		【取組結果】	【取組結果】	【取組結果】	【取組結果】	【取組結果】					
		年度当初に採用計画を公表し、受験者が受験しやすい環境を整え、採用試験を実施した。	年度当初に採用計画を公表し、受験者が受験しやすい環境を整え、採用試験を実施した。 厚生労働省の委託事業であるバス運転手就職サポートプロジェクト「バスジョブ」に登録し、職員募集のツールの拡充を図った。 12月1日から運用を開始した川西休憩所において、女性専用のトイレ設置し、女性の働きやすい環境整備を図った。	・年間採用試験実施計画を策定及び公表し、受験者が受験しやすい環境を整え、採用試験を実施した。 ・試験実施にあたっては、近隣の自動車教習所内への掲示や、バス車内への掲示など、運転士確保に向けた広報活動の拡充を図った。	【総務T】 ・年間採用試験実施計画を策定及び公表し、運転士の安定かつ継続的な確保に向け取り組んだ。 ・試験実施にあたっては、近隣の自動車教習所内への掲示や、バス車内への掲示など、運転士確保に向けた広報活動の拡充を図った。 ・令和7年度から実施する大型二種免許未取得者への免許取得費用補助制度を構築した。 【企画T】 計画的かつ安定的な乗務員の確保を踏まえ、市営バスHP内に乗務員募集特設コーナーを開設した。	【総務T】 ・年間採用試験実施計画を策定及び公表し、運転士の安定かつ継続的な確保に向け取り組んだ。 ・試験実施にあたり、近隣の自動車教習所やバス車内へのポスター掲示など、運転士確保に向けた広報活動の拡充を図った。 ・大型二種免許未取得者を対象とした採用試験を実施し、3名採用。 【企画T】 令和7年1月に開設した市営バスHPの乗務員募集特設コーナーについて、乗務員の勤務パターン動画を新たに公開するなど、更なる拡充を行った。					
(2) 実務経験が不足する運転士に対する育成の強化	熟練運転士の不足を実務経験の少ない運転士で補うため、教習の充実や民間バス事業者との合同研修等によって、お客様が安全・安心・快適にご乗車いただけるよう育成の強化に努めます。(①-(1)と一部重複)	運行管理T	実施								
【取組結果】	【取組結果】	【取組結果】	【取組結果】	【取組結果】							
新規採用乗務員の教習期間を延長し、内容の充実を図った。 乗務員研修などで周知を図った。	引き続き教習内容を研究、乗務員研修等で育成に努めた。合同研修に向けて阪急バスに打診した。	阪急バスと意見交換を行ったのち指導運転士研修に教習担当者が参加し、座学や実車による教習を見学させて頂いた。	阪急バスで行っている車内事故防止等の研修や2段階バックに関する研修参加に向けて調整を行った。	阪急バスで行っている車内事故防止等の研修や、2段階バックに関する研修を交通部の班研修に取り入れるための検討を行った。							
(3) 運転士グループワークの活性化	運転士を中心とした小グループで行う安全運転や接客に関する研修を継続して実施し、参加者同士でディスカッションを行う中で、組織力の向上と接客サービスの品質向上を図ります。	運行管理T	実施								
【取組結果】	【取組結果】	【取組結果】	【取組結果】	【取組結果】							
各班(グループ)にて、今、必要である課題を見つけ、取組んだ。	接客や安全運転に対する内容でグループ研修を実施した。	実際のバスを使用し、降車時のお客様を想定し、ロールプレイング形式のグループ研修を実施した。	グループ研修にて、テーマを設けて、班長、副班長が行っている安全への取組を共有した。	グループ研修にて、テーマを設けて、班長、副班長が行っている安全への取組を共有した。							
(4) 運転・整備・ダイヤ編成等の技術の継承	市営バスがこれまでに培った運転、整備、ダイヤ編成等に関する多様な技術を継承し、将来の市営バスを担う人材を育成します。	運行管理T ダイヤ・施設T	技術のマニュアル化検討								
					実施						
【取組結果】	【取組結果】	【取組結果】	【取組結果】	【取組結果】							
【運行管理T】 新規採用者に対し、運転・整備に関する知識の教習を行った。 【ダイヤ・施設T】 今後ダイヤ編成に携わる人材のために必要な知識やシステム等の操作方法のマニュアル内容について、研究した。	【運行管理T】 技術等の継承は必要不可欠なため、引き続き、育成に取り組んだ。 【ダイヤ・施設T】 ダイヤ編成担当者の後継者育成が急務であることから、ダイヤ改正に係る編成方法を逐一教示して取り組んだ。	【運行管理T】 接客技術の継承について、グループ研修の中で模範となる運転士の接客を学び、全運転士に対してロールプレイング形式の研修を行った。 整備については、適正な職員配置を行い、月に1回整備会議を行うなど情報共有を行った。 【ダイヤ・施設T】 ダイヤ改正に係る編成方法の伝承や、ICカードシステムの活用方法等についてチーム内で研修を行った。	【運行管理T】 運転技術の継承について、グループ研修の中でテーマを設け、班長、副班長が行っている安全への取組を共有した。 整備については、引き続き月に1回整備会議を行い、現状と課題等について情報共有を行うほか、バス車両の修繕履歴や修繕費用を管理するためのバス車両台帳の作成を検討した。 【ダイヤ・施設T】 ダイヤ改正に係る編成方法の伝承や、ICカードシステムの活用方法等の研究に取り組んだ。	【運行管理T】 ・運転技術の継承について、グループ研修の中でテーマを設け、安全への取り組みを共有した。 ・整備について、現状の課題等の情報共有を行うほか、車両の修繕履歴や修繕費用を管理できるよう、バス車両台帳や業務マニュアルの策定を検討した。 【ダイヤ・施設T】 ダイヤ改正に係る編成方法の伝承や、ICカードシステムの活用方法等の研究に取り組んだ。							

■高槻市営バス経営戦略(現行版) 進捗管理表

基本戦略	個別戦略	具体的取組		担当T	実施スケジュール				
					短期		中期		
		名称	概要		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
4 経営基盤の強化	⑩ 効率的な経営・収支の改善	(1) 広告料収入の増加	ネーミングライツや車両ラッピング広告、ターミナルに設置した時刻表内広告の継続実施によって新規スポンサーを開拓するとともに、先進バス事業者の取組等を参考に新たな広告媒体の検討を進め、広告料収入の増加を図ります。	財務T	情報収集・課題整理・実施				
					【取組結果】 一般会計にバス広告の案内を行うことで認知度を高め、活用してもらうことで増収を図った。	【取組結果】 新たに小型車両向けのラッピング(全面)を設定した。また、広告料収入の増加策において市関係部署と引き続き協議を行った。	【取組結果】 バス車両側面のラッピングや車内吊革等、新たな広告枠を設定した。	【取組結果】 新たにネーミングライツを1件追加した。また、広告料収入の増加策において市関係部署等と引き続き協議を行った。	【取組結果】 新たにネーミングライツを1件追加した。また、広告料収入の増加策について、市関係部署と引き続き協議を行った。
		(2) 市営バス事業運営の効率化	市営バス路線網の効率的な維持を図るための運行業務の一部委託や、各種関連事業の多角的な展開を図るため、関連会社の設立を検討します。	企画T 総務T	市営バス事業運営の効率化検討			実施	
					【取組結果】 【企画T】 高槻市営バスの関連会社として似つかわしい事業内容を精査し、他市の事例等を参考にあらゆる可能性について検討した。 【総務T】 新会社を設立した場合の人員構成を検討し、人件費を算出するなど会社設立時の影響を検討した。	【取組結果】 【企画T】 独立採算を基本とする公営企業としての事業形態の維持を基本としながら、あらゆる事業効率化手法について検討を行った。 【総務T】 経年劣化による施設や備品の修繕、購入など、施設等の維持管理に努めた。	【取組結果】 【企画T】 【総務T】 コロナ禍からの回復を見据え、独立採算を基本とする公営企業としての事業形態を基本としながら、事業の効率化(縮小)と拡充の両輪で持続可能な市営バス事業の維持及び継続に資する検討を行った(運賃改定等)。	【取組結果】 【企画T】 【総務T】 ODデータに基づく市営バス利用者数の推移や、今後必要となる投資の必要性等を踏まえ、収支均衡を見据えた安定した市営バス事業経営の実現を検討した。 市営バス利用者数の推移や電気バス等の新規投資を踏まえ、収支均衡を見据えた安定した市営バス事業経営の実現を検討する。	【取組結果】 【企画T】 【総務T】 ODデータに基づく市営バス利用者数の推移や、今後の新たな投資の必要性等を踏まえ、収支均衡を見据えた安定した市営バス事業経営の実現を検討した。
(3) アセットマネジメントの取組	市営バスの安全な運行に支障を生じないよう、市営バスが所有する施設等の維持管理を確実に実施するとともに、長期にわたり安定的な事業運営を行っていくために、アセットマネジメント基本方針及び施設の長期維持管理計画の策定について検討します。	ダイヤ・施設T 財務T 総務T	経年劣化施設の情報収集及び計画策定	実施					
			【取組結果】 【ダイヤ・施設T】 駅前各ターミナルやバス停留所施設の照明関係、上屋、ベンチの維持管理や駅前ターミナル滞留所内の路面補修を施工した。 【財務T】 長期的な視点で、大規模な支出が発生する時期の把握、計画的かつ効率的な管理ができる体制を構築するための計画を策定した。 【総務T】 経年劣化による施設や備品の修繕や備品の購入など、施設等の維持管理に努めた。	【取組結果】 【ダイヤ・施設T】 経年劣化したプラスチック製や木製ベンチの交換や修理を行った。 【財務T】 昨年度策定した資産管理計画に基づき、資産毎の個別計画を策定した。 【総務T】 経年劣化による施設や備品の修繕、購入など、施設等の維持管理に努めた。	【取組結果】 【ダイヤ・施設T】 駅ターミナルやバス停留所施設のLED化を実施し、上屋の設置、ベンチの交換等を行った。 【財務T】 個別計画の時点修正を行うとともに、次年度当初予算への反映を検討した。 【総務T】 経年劣化による施設や備品の修繕や備品購入など、管理施設の適切な維持管理に努めた。	【取組結果】 【ダイヤ・施設T】 公営交通事業協会のモデル・バス停留所施設設置事業を活用し、劣化した大和北上屋の撤去・設置を行った。 【財務T】 個別計画の時点修正を行うとともに、次年度当初予算への反映を精査した。 【総務T】 経年劣化による施設や備品の修繕や備品購入など、管理施設の適切な維持管理に努めた。	【取組結果】 【ダイヤ・施設T】 公営交通事業協会のモデル・バス停留所施設設置事業を活用し、「寺谷町バス停」上屋の撤去・設置を行った。 【財務T】 個別計画の時点修正を行うとともに、次年度当初予算への反映を精査した。 【総務T】 交通部所管施設の照明LED化を実施した。また、経年劣化による施設や備品の修繕や備品購入など、管理施設の適切な維持管理に努めた。		
(4) 企業ガバナンス強化の推進	公認会計士等第三者の意見を参考にしながら、より合理的な企業経営と経営改善が遂行できる仕組みを検討します。	財務T	ガバナンス強化検討	実施					
			【取組結果】 通常業務におけるリスク領域の特定を行い、対応策の作成を行った。	【取組結果】 作成した対応策に則り、具体的業務改善に着手した。	【取組結果】 リスク領域の対応策について、具体的取組を着実に進めたほか、適宜・適切な進捗管理を行った。	【取組結果】 リスク領域の対応策について、具体的取組を着実に進めたほか、適宜・適切な進捗管理を行った。	【取組結果】 リスク領域の対応策について、具体的取組を着実に進めたほか、適宜・適切な進捗管理を行った。		